

伊集院保健所感染症情報

2026年第12週（令和8年3月16日～令和8年3月22日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：インフルエンザ，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID），小児科1，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第9週	第10週	第11週	第12週	先週からの増減	第11週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	83.50	68.50	70.50	72.00	↗	50.72	↘
インフルエンザ	30	10	10	38.00	18.00	11.50	10.50	↘	6.70	↘
COVID-19	—	—	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.18	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	1.00	0.00	1.00	↗	1.00	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	6.00	4.00	8.00	15.00	↗	3.19	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	11.00	3.00	4.00	1.00	↘	6.10	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.19	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
伝染性紅斑	2	1	—	2.00	0.00	0.00	0.00	→	0.55	↗
突発性発しん	—	—	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.29	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
RSウイルス感染症	—	—	—	0.00	1.00	1.00	1.00	→	0.94	↘

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC

麻しん感染者が増えています。気を付けましょう。

麻しん（はしか）とは

麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染すると一生免疫が持続すると言われています

<主な症状>

感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れ2～3日熱が続いた後、39度以上の高熱と発しんが出現します。

肺炎や中耳炎を合併しやすく、1,000人に1人程度の割合で脳炎が発症します。死亡する割合も、先進国であっても1,000人に1人と言われています。

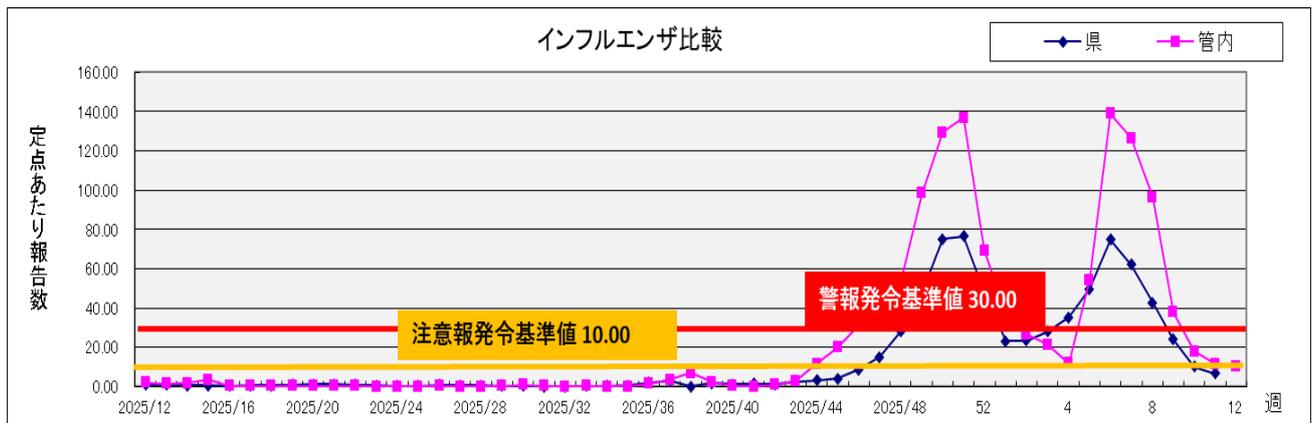


県民の皆様への注意喚起

- ①麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関へ連絡の上、受診してください。受診の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用を控えてください。
- ②麻しんの予防には、予防接種が最も有効な予防法の1つです。
麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児，第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けてない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けてください。

● 注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生警報発令中）

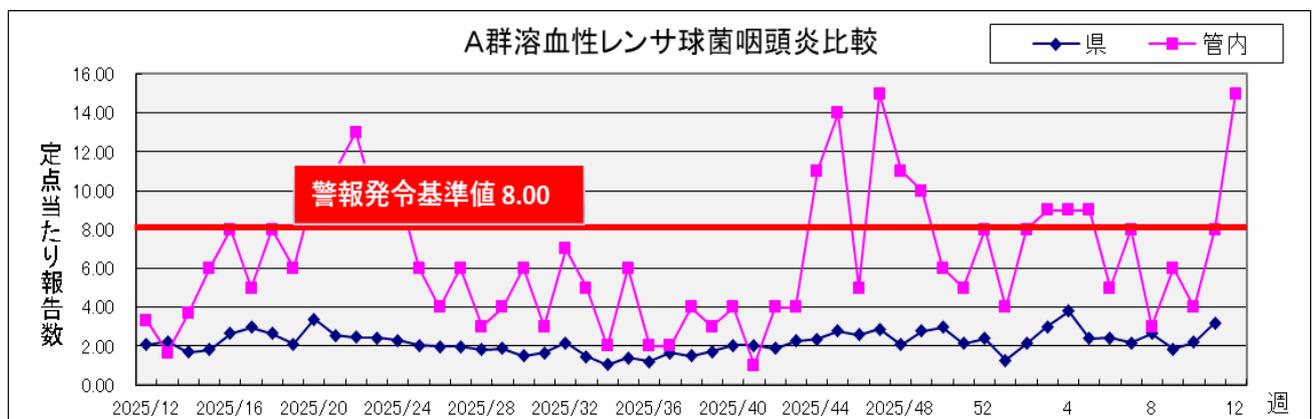


第12週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、第11週の23人(定点当たり11.50)から2人少ない、21人(定点当たり10.50)です。年齢別では、10～14歳(5人)、6歳(3人)、1歳・2歳・3歳・5歳・8歳(各2人)、4歳・7歳・9歳(各1人)でした。

インフルエンザは、発症すると38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防法としては、普段から流水と石けんによる手洗いを行うこと、「咳エチケット」としてマスク等を着用すること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



第12週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、15人でした。年齢別では、5歳(4人)、3歳・4歳・7歳・8歳(各2人)、2歳・9歳・10～14歳(各1人)の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況3/16～3/22（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、インフルエンザが6人(型不明5人、B型1人)、感染性胃腸炎が1人報告されています。

疾患名 自治体名	インフル エンザ	インフルエ ンザA型	インフルエ ンザB型	感染性 胃腸炎
日置市	4	0	1	1
いちき串木野市	0	0	0	0
三島村	1	0	0	0
十島村	0	0	0	0
計	5	0	1	1